

- 系 統 2液無溶剤型エポキシ樹脂系ひび割れ注入材
- 特 長 1) 粘度が低く、微細なひび割れへの注入作業に優れる。
2) コンクリートに対する接着性に優れる。
- 用 途 1) コンクリート構造物のひび割れ注入補修用
2) 旧建設省総合技術開発プロジェクト
コンクリートの耐久性向上技術の開発 平成元年5月
アルカリ骨材反応被害構造物（土木）の補修・補強指針（案）
注入材の品質規格1種適合品
3) J I S A 6 0 2 4 硬質形エポキシ樹脂（低粘度形）規格適合品
4) N E X C O 構造物施工管理要領（令和2年7月版）
ひび割れ注入工用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材1種適合品

配 合 比 主 剤：硬化剤 ＝ 7：3 （重量比）

荷 姿 1kg セット （主剤／0.70kg、硬化剤／0.30kg）
5kg セット （主剤／3.50kg、硬化剤／1.50kg）

外 観 性 状 主 剤…無色透明液状
硬化剤…淡黄色透明液状
混合物…淡黄色透明液状

可使時間の目安

タ イ プ	冬用（W）			夏用（S）		
温 度 [°C]	5	10	20	15	20	35
可 使 時 間 [分]	130	70	30	170	120	20

比 重 1.15±0.05 （硬化物）

貯蔵保証期間 12か月 （未使用、冷暗所保存）

消 防 法 に よ る 区 分 主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性

日本接着剤工業会
ノンホルムアルデヒド
製 品 登 録 Sタイプ：J A I A-009420 F☆☆☆☆
Wタイプ：J A I A-009421 F☆☆☆☆

毒物及び劇物
取 締 法 主 剤 該当しない
硬化剤 該当しない

使 用 方 法 1) 主剤、硬化剤を配合比に従って、秤量して使用する。
2) 計量した主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。
3) BLインジェクター、DDインジェクター、LLインジェクター等を用いて、ひび割れに注入する。

使用上の注意 1) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。
2) 可使時間内に作業を終了する。
3) シンナーや水を混入して使用しない。

⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細については安全データシート（SDS）を参照してください。